

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-223169

(43)Date of publication of application : 26.08.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 08-030626

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 19.02.1996

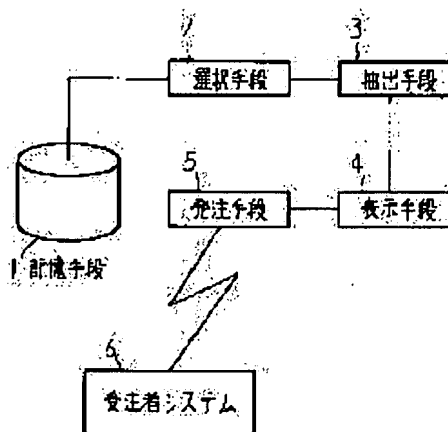
(72)Inventor : SATO ARINORI  
ENDO MIEKO

## (54) INFORMATION PROCESSING SYSTEM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily and simply constitute a consistent system by displaying whether or not inputted products can be connected according to a storage means.

**SOLUTION:** The storage means 1 stores product information on different kinds of product and connection information showing whether or not those products can be connected. An input means 2 makes a user input plural kinds of product. An extracting means 3 extracts a combination of products which can be connected among the products inputted from the input means 2 according to the connection information in the storage means 1. Then a display means 4 displays whether or not the products inputted by the input means 2 can be connected and the combination of the products extracted by the extracting means 3 according to the storage means 1. Further, an ordering means 5 generates an order sheet containing information specifying the products and purchasers of the products according to the display contents of the display means 4 and sends it to an order receiver system.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-223169

(43) 公開日 平成9年(1997)8月26日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 17/60

識別記号 庁内整理番号

F I  
G 0 6 F 15/21

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数14 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平8-30626

(22) 出願日 平成8年(1996)2月19日

(71) 出願人 000005223  
富士通株式会社  
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号

(72) 発明者 佐藤 有紀  
宮城県仙台市青葉区一番町3丁目3番5号  
株式会社富士通東北システムエンジニア  
リング内

(72) 発明者 遠藤 美恵子  
宮城県仙台市青葉区一番町3丁目3番5号  
株式会社富士通東北システムエンジニア  
リング内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

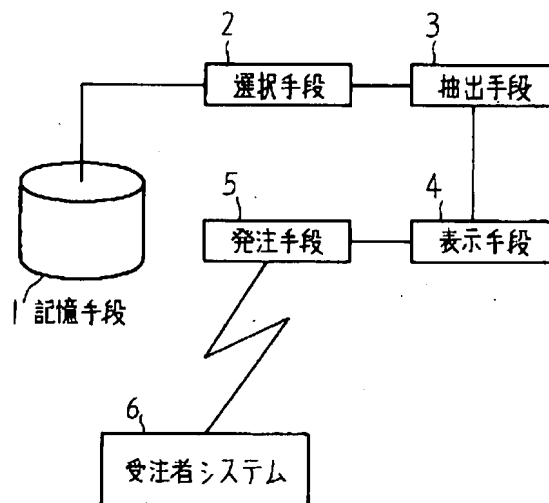
(54) 【発明の名称】 情報処理システム

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、購入予定のコンピュータ製品の仕様等を調べる手間を軽減し、コンピュータ製品間で接続が可能か否かを判定するのに専門的な知識を不要とするシステムを提供し、更には、本発明により選択された購入予定の製品をオンラインで発注できるシステムを提供することを目的とする。

【解決手段】 本発明を、製品の製品情報と異種製品間の接続に関する接続情報とを記憶する記憶手段と、利用者に複数異種の製品情報を入力させる入力手段と、当該入力手段により入力された製品間で接続可能な製品の組合せを当該記憶手段の接続情報に基づいて抽出する抽出手段と、当該選択手段により選択された製品間の接続の可否及び当該抽出手段により抽出された製品の組合せを当該記憶手段に基づき表示する表示手段と、当該表示手段による表示内容に基づき選択される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書を作成し受注者システムに対し送信する発注手段とから構成する。

本発明のシステム構成図



**【特許請求の範囲】**

**【請求項 1】** 製品に関する情報を処理する情報処理システムにおいて、

製品の製品情報と当該異種製品間の接続に関する接続情報とを記憶する記憶手段と、

利用者に複数異種の製品を特定する情報を入力させる入力手段と、

当該入力手段により入力された製品間の接続の可否を、前記憶手段に基づき表示する表示手段とを有することを特徴とする情報処理システム。

**【請求項 2】** 請求項 1 の入力手段は、

製品の種類を特定する情報を入力させる第一入力手段と、

当該第一入力手段により入力された種類の製品の機種を特定する情報を入力させる第二入力手段とからなることを特徴とする請求項 1 の情報処理システム。

**【請求項 3】** 請求項 1 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の記憶手段の接続情報に基づいて、同項記載の入力手段により入力された製品間で接続可能な製品の組合せを抽出する抽出手段と、

当該抽出手段により抽出された製品の組合せを表示する同項記載の表示手段とを有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理システム。

**【請求項 4】** 請求項 2 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の記憶手段の接続情報に基づいて、同項記載の第二入力手段により入力された製品間で接続可能な製品の組合せを抽出する抽出手段と、

当該抽出手段により抽出された製品の組合せを表示する同項記載の表示手段とを有することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理システム。

**【請求項 5】** 請求項 1 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の表示手段による表示内容に基づき入力される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書を作成し受注者システムに対し発注を行なう発注手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理システム。

**【請求項 6】** 請求項 2 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の表示手段による表示内容に基づき入力される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書を作成し受注者システムに対し発注を行なう発注手段を有することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理システム。

**【請求項 7】** 請求項 3 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の表示手段による表示内容に基づき入力される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書

を作成し受注者システムに対し発注を行なう発注手段を有することを特徴とする請求項 3 記載の情報処理システム。

**【請求項 8】** 請求項 4 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の表示手段による表示内容に基づき入力される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書を作成し受注者システムに対し発注を行なう発注手段を有することを特徴とする請求項 4 記載の情報処理システム。

**【請求項 9】** 請求項 5 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の発注手段により送信される発注書を受信する受注者システムを有することを特徴とする請求項 5 記載の情報処理システム。

**【請求項 10】** 請求項 6 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の発注手段により送信される発注書を受信する受注者システムを有することを特徴とする請求項 6 記載の情報処理システム。

**【請求項 11】** 請求項 7 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の発注手段により送信される発注書を受信する受注者システムを有することを特徴とする請求項 7 記載の情報処理システム。

**【請求項 12】** 請求項 8 記載の情報処理システムにおいて、

同項記載の発注手段により送信される発注書を受信する受注者システムを有することを特徴とする請求項 8 記載の情報処理システム。

**【請求項 13】** 複数異種の製品についての製品情報と異種製品間の接続が可能か否かを示す接続情報とを記憶する記憶媒体。

**【請求項 14】** 請求項 13 の記憶媒体は、CD-ROMであることを特徴とする記憶媒体。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、情報処理システムに関し、特に、コンピュータ製品間の接続可否を提示し、整合性のとれたシステムを容易かつ簡単に構築できる情報処理システムに関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、新たなシステムを構成するために、プリンタ、メモリ、SCSIカード等のコンピュータ製品の購入を検討する場合、購入候補の製品の仕様、既存システムまたは新たに購入しようとする製品との間での接続の可否等の確認は、マニュアル、雑誌等の紙媒体の適当な箇所を参照するというように、手作業により行っていた。また、このような手作業により製品の仕様等を確認できたとしても、購入予定製品の見積書は、手

作業またはシステム構成等の条件を指定することにより自動的に発行されていた（特開平 4 - 2 8 9 9 6 6 号公報、特開平 5 - 2 1 6 8 9 7 号公報）。このように発行された発注書は、紙ベースで受注者に送付されていた。

【0003】一方、コンピュータの本体は買ったものの、その本体に接続するプリンタを探す場合、コンピュータ関連の雑誌等で調べたり、身近な専門家に聞いたり、その本体メーカーのカスタマ・サービスに電話で問い合わせることにより、接続の適否を判断し、購入するプリンタを決定していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】したがって、従来の技術においては、以下に示す 7 つの問題があった。

①購入を予定しているコンピュータ製品間で接続が可能か否かを調べるには、雑誌やマニュアル等に記載されている仕様等を確認しなければならず、その確認に多大な時間を要していた。②例えば仕様等が確認できたとしても、コンピュータ製品間で接続が可能か否かを判定するのに、専門知識を必要とする場合があり、素人は容易に判断できない。③上記公知例では、システム構成の詳細項目を入力しなければならず、ユーザインターフェースに優れているとはいえない。④購入者が知りたいのは、製品間で接続ができるか否かまたは接続に適しているか及び価格であり、その他の詳細な仕様は必要ない。⑤上記公知例等のように、見積書や発注書を自動生成したとしても、発注は紙ベースで行われるため、当該発注書を発注先に届くまでには時間を要する。⑥カスタマサービス・センタや身近な専門家に問い合わせるにしても、その相手の知識には偏りがあり、統一した基準が得られない。⑦そのカスタマサービス・センタのスタッフにしても、未知の製品については、問い合わせに係る製品の仕様等を紙のマニュアル等から調べなければならず、時間を要していた。

【0005】そこで、本発明は、かかる問題を解決することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決するために、本発明を、製品の製品情報と異種製品間の接続に関する接続情報とを記憶する記憶手段と、利用者に複数異種の製品を入力させる入力手段と、当該入力手段により入力された製品間で接続可能な製品の組合せを当該記憶手段の接続情報に基づいて抽出する抽出手段と、当該入力手段により入力された製品間の接続に関する情報及び当該抽出手段により抽出された製品の組合せを当該記憶手段に基づき表示する表示手段と、当該表示手段による表示内容に基づき入力される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書を作成し受注者システムに対し送信する発注手段とにより構成する（請求項 1 に相当）。

【0007】

【実施の形態】本発明の実施の形態を、第 1 図から第 1 6 図を用いて説明する。第 1 図は、請求項 1 に相当する本発明の実施の形態を示す。同図において、1 は異種製品間の製品情報と当該異種製品間の接続が可能か否かを示す接続情報とを記憶する記憶手段を、2 は利用者に複数異種の製品を入力させる入力手段を、3 は記憶手段 1 の接続情報に基づいて入力手段 2 により入力された製品間で接続可能な製品の組合せを抽出する抽出手段を、4 は記憶手段 1 に基づき入力手段 2 により入力された製品間の接続の可否及び抽出手段 3 により抽出された製品の組合せを表示する表示手段を、5 は表示手段 4 による表示内容に基づき入力される製品及びその製品の購入者を特定する情報を含む発注書を作成し、受注者システムに送信する発注手段を、6 は受注者システムを示す。なお、同図において、1 から 5 は、発注者のシステムを示す。

【0008】本発明の処理フローを第 2 図を用いて簡単に説明した後、本システムに用いられるデータ構造および第 2 図の各処理について詳細に説明する。まず、本発明に係るシステム（以下、「本システム」という）は、表示手段 4 に第 6 図に示すような画面を表示させ、利用者に二以上の製品の種類を入力させる（S1）。製品の種類とは、例えば、本体、プリンタ等をいう。本システムは、入力された製品の種類を、バッファに格納する。次に、本システムは、表示手段 4 に、当該入力された製品の種類に属する機種を全部表示させ、利用者に一または二以上の製品の機種を入力させる（S2）。製品の機種とは、例えば、本体 A、プリンタ A 等をいう。本システムは、入力された製品の機種を、バッファに格納する。本システムは、表示手段 4 に、入力された異種の機種間で接続が可能か否かの相性判定を表示させる「相性」画面および入力された機種の機能概要、性能等を表示させる「詳細」画面を起動するアイコン等を表示させ（S3）、利用者に入力させる。本システムは、「相性」のアイコンが入力された場合には、接続推奨度テーブル（第 5 図）を参照し、表示手段 4 に、「相性」画面を表示させ（S4）、「詳細」のアイコンが入力された場合には、表示手段 4 に、詳細情報テーブルを参照し、「詳細」画面を表示させる（S5）。また、表示手段 4 に表示されている「抽出」のアイコンが入力された場合には、本システムは、接続推奨度テーブルを参照し、当該テーブルにおいて接続不可となる製品の組合せを削除し、接続可能な製品の組合せのみを、表示手段 4 に表示させる（S6）。利用者は、これらの画面を適宜参照し、購入する製品を入力し、画面中の「確定」のアイコンを入力する（S7）。この確定された製品は、購入候補入力時のバッファとは別のバッファに格納される。表示画面中の「発注」のアイコンが入力されると、本システムは、購入の確定した製品情報を格納したバッファを参照し、当該製品の必要な情報を組み込んだ発注書を、

通信回線を通して、受注者システムに送信し（S8）、処理を終える。

【0009】次に、記憶手段1内に格納されている情報のデータ構造について、第3図から第6図を用いて説明する。第3図は、製品の製品概要情報を示すテーブル、具体的には本体についての製品概要情報を示すデータ構造図である。同図の製品概要情報テーブルは、機種名、製品コード、価格、備考のフィールドから構成され、製品の種類毎に設けられる。本システムは、製品コードを、複数のテーブルの情報を参照する際、機種を一意に

10 特定するキーとして用いる。

【0010】第4図は、製品の製品詳細情報を示すテーブル（以下、「製品詳細情報テーブル」という）であり、各製品の機能概要や仕様等の詳細情報と、当該製品の外観イメージ・データとから構成される。このテーブルも製品の種類ごとに設けられる。第5図は、本体と各周辺機器との接続情報に関するデータ構造の第一の例、つまり、異なる種類の製品間の接続可否を0から5の6段階評価で表すテーブルを示す。このテーブルは、記憶手段1に格納されている製品の全組合せについての接続推奨度から構成される。この相性において、5は接続の相性が非常に良い組合せを表し、降順で次第に接続の相性が悪い組合せを表し、0は接続不可能な組合せを表す。したがって、本体AとプリンタP1の組合せは、接続推奨度が「5」であるため、接続の相性が非常に良いことを示し、本体FとプリンタP1の組合せは、接続推奨度が「0」のため、接続不可能であることを示している。これらの接続推奨度は、例えば、各メーカーにより発表される製品情報等に基づき複数の専門家により客観的に決定する。

【0011】また、当該データ構造は、第6図に示すように、「0（接続不可能）」、「1（接続可能）」の二値のみであってもよい。次に、既に概説した本発明の処理フローを、各処理毎に、説明する。

<S1> 本システムは、表示手段4に、製品を入力させるための画面（第7図）を表示させ、利用者に製品を入力させる。同図においては、製品の種類として、「本体」が入力された場合の画面が示されている。「本体」が入力されると、本システムは、記憶手段1内の製品概要テーブル（第3図）を参照し、製品の種類が「本体」に属する製品情報を表示する。この場合、価格範囲、メーカー名等の条件を指定し、表示させる製品数を絞り込んでもよく、その場合、本システムは、その条件を具備する製品を検索し、具備したものだけを表示する。この条件指定は、例えば、第3図中の「条件」指定を示すアイコンを入力することにより行う。また、この画面で、複数種類の製品を入力してもよく、本システムは、図示しない主記憶に、入力された製品種類を記憶する。例えば、第7図の画面において、「本体」、「プリンタ」および「ディスプレイ」が入力された場合、本システム

は、第9図の第1行目のデータのように、入力された製品種類を、その主記憶に保持する。

【0012】<S2> 利用者は、本システムにおける製品間の接続情報等を利用しない場合には、第7図の画面において、購入する製品を入力し、「確定」のアイコンを入力することにより、S7（確定）の処理に移る。本システムは、図示しないが、その入力された製品機種を、その主記憶に保持する。このように、利用者がコンピュータ技術に詳しく、接続の可否も既知の場合は、本発明を利用することなく、このまま、発注手続に移ればよい。なお、接続の可否の確認のため、本発明による接続可否の確認（後述する）を行なってもよいことはいくまでもない。

【0013】<S3> 利用者は、本システムにおける製品間の接続可否情報等を利用する場合には、第7図の画面において、その入力を行う。本システムは、記憶手段1内の製品概要情報テーブル（第3図）を参照し、表示手段4に、第7図のような画面を表示させる。第7図は、S1において入力された製品種類「本体」に属する製品機種をその価格等と共に表示手段4に表示した図を示す。利用者は、同図における画面を参照し、接続可否情報等を利用したい製品機種を、製品の種類毎に入力する。本システムは、ここで入力された製品機種を、第9図の第2行目以降のデータのように、その主記憶に保持する。第9図は、製品種類「本体」に対し、製品機種「本体A」、「本体C」、「本体E」および「本体G」が入力され、製品種類「プリンタ」に対し、製品機種「プリンタP1」、「プリンタP2」および「プリンタP4」が入力され、また、製品種類「ディスプレイ」に対し、「ディスプレイD2」、「ディスプレイD3」および「ディスプレイD8」が入力された場合の主記憶に保持されるデータを示す。

【0014】<S4> 第7図の画面において「詳細」のアイコンが入力された場合、本システムは、第8図のような画面を示す。第8図の画面の左側は、S3で入力された機種群を、同図の画面の右側は、同図の左側の画面においてカーソルが置かれている機種の詳細情報を示す。本システムは、主記憶に保持した入力された製品群に基づき、記憶手段1内の製品概要テーブル（第3図）を参照して、同図の左側の画面を、記憶手段1内の製品詳細テーブル（第4図）を参照して、同図の右側の画面を、表示手段4に表示させる。同画面の右側は、同図の示す通り、当該機種の詳細情報および製品外観のイメージ図から構成される。利用者は、この製品詳細情報を参照することにより、接続可否情報を利用する製品機種の変更等を行う。第8図の画面における「終了」アイコンの入力により、画面は、第7図の画面に戻り、利用者は、再度機種を入力し直すか、または接続可否情報を利用するかを入力する。

【0015】<S5> 第8図において、「相性」アイ

コンが入力されると、本システムは、主記憶内に保持した入力製品機種情報（第9図）に基づき表示製品を抽出し、記憶手段1内の接続可否情報テーブルの参照し、第10図または第11図に示すような画面を、表示手段4に表示する。第10図は、入力製品機種である本体とプリンタ間の接続可否情報を、第11図は、入力製品機種である本体とディスプレイ間の接続可否情報を表示した画面を示す。

【0016】第10図において、「本体A—プリンタP4」、「本体C—プリンタP4」および「本体G—プリンタP1」の組合せは、表示情報が「0」のため、接続が不可能であることを示す。また、第11図においては、「本体A—ディスプレイD3」、「本体C—ディスプレイD2」および「本体E—ディスプレイD3」も、同様に、接続不可能であることを示す。

【0017】<S6> 第10図または第11図の画面において、「候補一覧」のアイコンが入力されると、本システムは、入力製品機種情報（第9図）および接続可否情報テーブル（第5図または第6図）に基づき、入力しうる全ての組合せの内、接続可能な組合せを、表示手段4に提示する。この処理については、第12図および第13図を用いて、後述する。

【0018】<S7> 本システムは、第8図または第13図における「確定」アイコンの入力により入力された製品機種（以下、「確定製品群」という）およびその発注個数を、図示しない主記憶内のバッファに記憶し、当該確定製品群の発注手続を行うべく、第14図のような画面を、表示手段4に表示させる。利用者が、「本体E—プリンタP1」の接続推奨度は4、「本体E—ディスプレイD2」の接続推奨度は5であることを参考にして（第13図等参照）、確定製品群として、「本体E」、「プリンタP1」および「ディスプレイD2」を各1台入力したとすると、当該バッファの中身は、図示しないが、「本体E」、「プリンタP1」および「ディスプレイD2」の各製品コードおよびその発注個数となる。

【0019】<S8> 第14図は、発注手続を示す画面を表し、S7の処理により発注することとした確定製品群の明細書を示す左側の発注明細画面と、発注者および支払い方法等を特定するための右側の発注手続画面から構成される。本システムは、主記憶内の確定製品群の製品コードをキーとして、記憶手段1内の製品概要情報テーブルを参照し、一台あたりの価格に基づき、発注に係る製品の合計金額を算出し、第14図の左側の画面を作成する。また、本システムは、記憶手段1内の画面定義体と呼出して、同図の右側の画面を表示する。

【0020】利用者は、第14図の発注手続画面に従い、発注方法、自己の情報、支払方法等を入力する。例えば、発注を電子メールにより行う場合、利用者は、受注者のメールアドレスを指定しまたは候補一覧から選択

し（図示しない）、当該受注者に、発注明細書を同封した電子メールを送信することにより、発注手続を完了する。また、発注をFAXにより行なう場合、利用者は、受注者のFAX番号を指定し、または候補一覧から選択し（図示しない）、当該受注者を特定し、FAXモデムを介して、電子情報のまま、発注手続を行なう。

【0021】次に、第12図および第13図を用いて、接続可能な製品の組合せを抽出する処理S6を説明する。第12図は、入力製品群の内接続可否情報テーブルに基づき接続可能な製品の組合せを抽出する処理フローを示す。利用者は、第10図または第11図の画面から、「候補一覧」のアイコンを入力すると（S61）、本システムは、バッファ領域の入力製品機種情報に示される機種の全ての組合せについて、記憶手段1内の接続可否情報テーブルを参照する（S62）。本システムは、当該全組合せの内、接続推奨度が「0」を含まない組合せについて、特定のバッファ領域にそれらの製品コードとその接続推奨度を格納する（S63）。当該組合せの内、接続推奨度が「0」を含む組合せについては、当該バッファ領域への格納は行わない。本システムは、このバッファ領域に格納した組合せ情報に基づき、記憶手段1内の製品概要テーブルを参照し、表示手段4に、製品名、接続推奨度および合計価格を表示させる（S64）。

【0022】第13図は、これらS61からS64までの処理により抽出された本実施の形態における「接続可能な候補の一覧」を示す。同図中、製品を結ぶ「<—」と「—>」で囲まれた数字は、記憶手段1内の接続可否情報テーブルの当該組合せの数値を示す。例えば、第13図において、「プリンタP1—本体A」の接続推奨度は、第10図に示されるものと同様、「5」である。また、第13図においては、S61からS64までの処理の結果、「プリンタP1—本体A—ディスプレイD3」等の接続推奨度として「0」を含むような組合せは含まない。利用者は、この画面を参考にして、発注する製品機種を決定し、「確定」のアイコンを入力することにより、その発注製品を確定する。

【0023】なお、本システムは、ここで説明した購入製品を入力する場合のみでなく、既に購入済の製品に接続するコンピュータ製品を入力する場合にも利用できる。つまり、第8図の画面において、当該購入済製品と購入予定の製品を入力し、両者間の接続推奨度を参照した後、発注できるため、購入済製品に適した製品を入力することができる。

【0024】また、ここでは入力された製品の組合せについて、接続の可否に関係なく、その接続推奨度を表示させた後、接続可能な組合せのみを表示させるという2段階構成の表示で説明したが、第1段階の処理を省略して、最初から接続可能な組合せのみを表示させてもよい。また、第15図は、本発明の第二の実施の形態であ

る。同図は、製品情報と製品間の接続情報、例えば、製品概要情報（第3図）、製品詳細情報（第4図）および接続情報（第5図）を格納した記録媒体であるCD-ROMを示す。この場合の実施の形態を、以下に示す。第三者が、市場に流通する当該CD-ROMを購入し、自分のシステムに、当該CD-ROMと本発明の入力手段、抽出手段および発注手段を具備したパッケージソフトをインストールする。このシステム構成は、基本的に、第1図のシステム構成と実質同一となり、その処理については、上述の通りである。

【0025】第16図は、本発明の第三の実施の形態である、製品情報と製品間の接続情報とを格納した記憶媒体を示す。同図中、1は記憶媒体であるDASDを、7は、カスタマサービス・センタのオペレータの端末を示す。DASD1は、第5図のごとき各種の製品情報と製品間の接続情報を格納する。このDASD1には、例えば、新製品リリースの度に、最新の製品情報と当該新製品と他の種類に属する製品との接続情報を格納しておく。

【0026】顧客がカスタマサービス・センタに製品の接続の可否について、問い合わせがあると、カスタマサービス・センタのスタッフは、その端末7から検索ツール（例えば、請求項1から記憶手段を除いたもの）を起動させる。スタッフは、顧客の問い合わせに係る製品を、検索ツールにより指定する。検索ツールは、指定された製品を特定する情報（例えば、製品コード）に変換し、DASD1へアクセスする。検索ツールは、その製品コード等をキーとして、第5図のテーブルの中から接続推奨度を取り出し、その接続推奨度を端末7に表示させる。スタッフは、その表示に基づき、電話口の顧客に対し、購入のアドバイスを行なう。

【0027】

【発明の効果】以上の構成により、本発明は、以下の効果を有する。

①購入者は、簡単な操作で製品間での接続可否の情報または接続の適性を表示するため、マニュアル等で購入予定の製品のマニュアル等を参照するという煩わしい手間を省略することができる。

②購入予定の製品について仕様等の詳細情報を知らなくても、接続の可否または接続の適性が示されるので、コンピュータ技術をあまり知らない素人であっても、容易にかつ簡単な操作で、システム構成の検討をすることができる。

③本システムの利用者は、システム構成の詳細な情報を入力することなく、購入予定の製品の種類（例えば、プリンタ等）または提示される製品の中から購入したい製品を入力するだけで、製品間の接続の可否または接続の適性を知ることができるため、従来技術と比較して、ユ

ーザインタフェースの向上を図ることができる。

④請求項2の発明は、製品の種類とそれに属する製品機種を分けて入力させるため、ユーザインタフェースの向上が図れる。

⑤請求項3、4、7、8、11、12の発明は、利用者の入力した製品の組合せのうち接続可能な製品の組合せのみを表示するので、利用者は接続可能な製品の組合せを一目で把握することができる。

⑥請求項5から請求項12の記載した発明においては、購入予定の製品について自動生成した発注書を電子情報のまま受注者に発注依頼するため、瞬時に受注者に届くこととなり、従来の紙ベースによる発注書の送付時間を大幅に短縮することができる。

⑦請求項13、14の発明を、流通市場に配付することにより、コンピュータ製品間の接続について知識のない者でも、容易に接続の可否を判断できる。

⑧請求項13、14の発明をカスタマサービス・センタ等に設け、顧客からの製品接続についての問い合わせに利用することにより、問い合わせに対して、均一かつ的確なアドバイスを与えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のシステム構成図

【図2】 本発明の処理フローを示す図

【図3】 各製品の製品概要情報を示すデータ構造図

【図4】 各製品の製品詳細情報を示すデータ構造図

【図5】 本体と各周辺機器との接続推奨度を示すデータ構造図（1）

【図6】 本体と各周辺機器との接続推奨度を示すデータ構造図（2）

【図7】 製品を入力させるための画面を示す図

【図8】 第7図において「詳細」が入力された場合の画面を示す図

【図9】 入力された機種に関するデータ構造を示す図

【図10】 第7図の画面において「相性」が入力された場合の画面（1）を示す図

【図11】 第7図の画面において「相性」が入力された場合の画面（2）を示す図

【図12】 接続可能な製品の組合せを抽出する処理を示す図

【図13】 第10図または第11図において「候補一覧」が入力された場合の画面を示す図

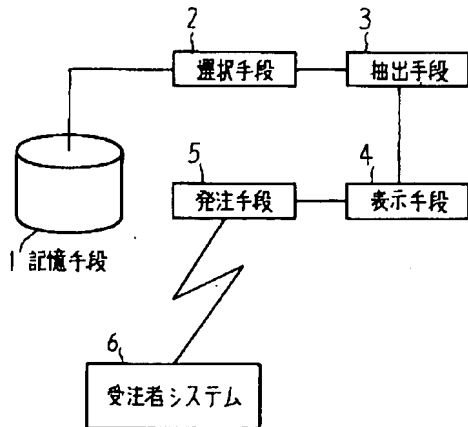
【図14】 発注手続を示す画面を示す図

【図15】 異種製品間の接続推奨度の情報を記憶した記憶媒体（1）

【図16】 異種製品間の接続推奨度の情報を記憶した記憶媒体（2）

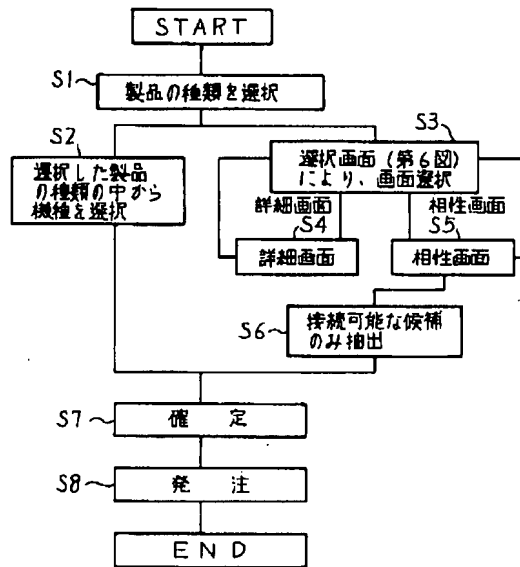
【図 1】

本発明のシステム構成図



【図 2】

本発明の処理フローを示す図



【図 3】

各製品の製品概要情報を示すデータ構造図

本体の場合

本体	製品コード	価 格	備 考
A	A0121	15万円	A社製
B	B3202	18万円	B社製
C	C1023	12万円	C社製
D	D2942	20万円	D社製
E	E5621	16万円	E社製
F	F1142	9万円	F社製
G	G4632	14万円	G社製
.....	.....	.....	.....

【図 4】

各製品の製品詳細情報を示すデータ構造図

本体の場合

製品コード	詳細情報	画像情報
A0121	CPU: P(133MHz) 等	.....
B3202	CPU: P(75MHz) 等	.....
C1023	CPU: DX(66MHz) 等	.....
D2942	CPU: I(100MHz) 等	.....
E5621	CPU: P(75MHz) 等	.....
F1142	CPU: I(120MHz) 等	.....
G4632	CPU: P(120MHz) 等	.....
.....	.....	.....



【図 5】

本体と各周辺機器との接続推奨度を示すデータ構造図 (1)

本体とプリンタの接続推奨度を示すテーブル					
コード	P1	P2	P3	P4	..
A	5	3	5	0	..
B	4	2	2	1	..
C	2	2	3	0	..
D	3	4	4	3	..
E	4	3	1	5	..
F	0	2	5	4	..
G	0	5	0	2	..
H	2	1	1	1	..
...	..	..	..	..	..

【図 7】

製品を選択させるための画面

本体	ディスプレイ	HD	メモリ	プリンタ	スキャナ	その他																					
<p>本 体</p> <table> <tr> <td>・本体名</td> <td>価格</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>・A</td> <td>15万円</td> <td>A社製</td> </tr> <tr> <td>・B</td> <td>18万円</td> <td>B社製</td> </tr> <tr> <td>・C</td> <td>12万円</td> <td>C社製</td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>20万円</td> <td>D社製</td> </tr> <tr> <td>・E</td> <td>16万円</td> <td>E社製</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							・本体名	価格	備考	・A	15万円	A社製	・B	18万円	B社製	・C	12万円	C社製	・D	20万円	D社製	・E	16万円	E社製	...		
・本体名	価格	備考																									
・A	15万円	A社製																									
・B	18万円	B社製																									
・C	12万円	C社製																									
・D	20万円	D社製																									
・E	16万円	E社製																									
...																											
詳細	相性	取消	終了	条件	確定																						

【図 9】

選択された機種に関するデータ構造を示す図

ハード種類	本 体	プリンタ	ディスプレイ
製品コード	A	P1	D2
...	C	P2	D3
...	E	P4	D8
...	G	—	—

【図 6】

本体と各周辺機器との接続推奨度を示すデータ構造図 (2)

本体とプリンタの接続推奨度を示すテーブル					
コード	P1	P2	P3	P4	..
A	1	1	1	0	..
B	1	1	1	1	..
C	1	1	1	0	..
D	1	1	1	1	..
E	1	1	1	1	..
F	0	1	1	1	..
G	0	1	0	1	..
H	1	1	1	1	..
...	..	..	..	..	..

【図 8】

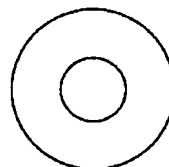
第6図の画面において「詳細」が選択された場合の画面

本体	ディスプレイ	HD	メモリ	プリンタ	スキャナ	その他												
<table> <tr> <td>プリンタ</td> <td>プリンタ名</td> <td>価格</td> </tr> <tr> <td>・P1</td> <td></td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>・P2</td> <td></td> <td>8万円</td> </tr> <tr> <td>・P4</td> <td></td> <td>6万円</td> </tr> </table>							プリンタ	プリンタ名	価格	・P1		10万円	・P2		8万円	・P4		6万円
プリンタ	プリンタ名	価格																
・P1		10万円																
・P2		8万円																
・P4		6万円																
<table> <tr> <td>プリンタ名</td> <td>P1</td> </tr> <tr> <td>・詳細情報</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外観イメージ図</td> <td></td> </tr> </table>							プリンタ名	P1	・詳細情報		・外観イメージ図							
プリンタ名	P1																	
・詳細情報																		
・外観イメージ図																		
詳細	相性	終了																

【図 15】

異種製品間の接続推奨度等の情報を記憶した記憶媒体 (1)

CD-ROM



【図10】

第6図の画面において「相性」が選択された  
場合の画面 (1)

本体	ディスプレイ	HD	メモリ	プリンタ	その他
----	--------	----	-----	------	-----

選択された本体とプリンタの相性					
	A	C	E	G	
P1	5	2	4	0	
P2	3	2	3	5	
P4	0	0	5	2	

詳細	相性	取消	終了	候補一覧
----	----	----	----	------

【図11】

第6図の画面において「相性」が選択された  
場合の画面 (2)

本体	ディスプレイ	HD	メモリ	プリンタ	スキャナ	その他
----	--------	----	-----	------	------	-----

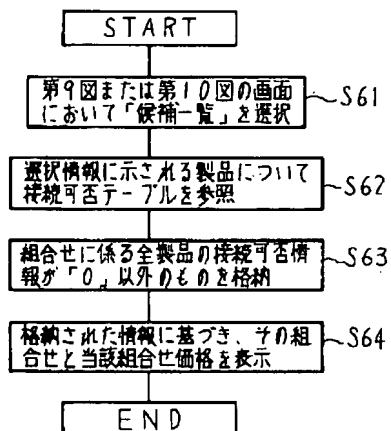
選択された本体とディスプレイとの相性					
	A	C	E	G	
D2	2	0	5	4	
D3	0	3	0	4	
D8	3	4	2	5	

詳細	相性	取消	終了	候補一覧
----	----	----	----	------

【図12】

接続可能な製品の組合せを抽出する処理を示す図



【図13】

第9図または第10図において「候補一覧」が選択された  
場合の画面

接続可能な候補一覧						第1頁
プリンタ名		本体名		ディスプレイ名	価格	
P1	<-5->	A	<-2->	D2	〇〇円	
P1	<-5->	A	<-3->	D6	...	
P2	<-3->	A	<-2->	D2	...	
P2	<-3->	A	<-3->	D8	...	
P1	<-2->	C	<-3->	D3	...	
P1	<-2->	C	<-4->	D8	...	
P2	<-2->	C	<-3->	D3	...	
P2	<-2->	C	<-4->	D8	...	
P1	<-4->	E	<-5->	D2	...	
P1	<-4->	E	<-5->	D8	...	

確定	選択	取消	詳細	前頁	次頁
----	----	----	----	----	----

【図 14】

発注手続を示す画面

発注依頼明細書		
製 品	個数	小 計
1. 本体 E	1	××円
2. フリッパ I	1	〇〇円
3. DSP DZ	1	△△円
小 計		〇×円
消費税		□円
合 計		△〇円

発注手続	
1. 発注方法	
(1) E-MAIL (2) FAX	
2. 発注者	
(1) 住所	(2) 氏名
(3) 電話番号	
3. 支払い方法	
(1) 現金書留	
(2) □ 口座振込	
(3) クレジット	

【図 16】

異種製品間の接続推奨度等の情報を記憶した記憶媒体 (2)

